

週間漁海況情報 2026年第30号

令和8年8月4日発行

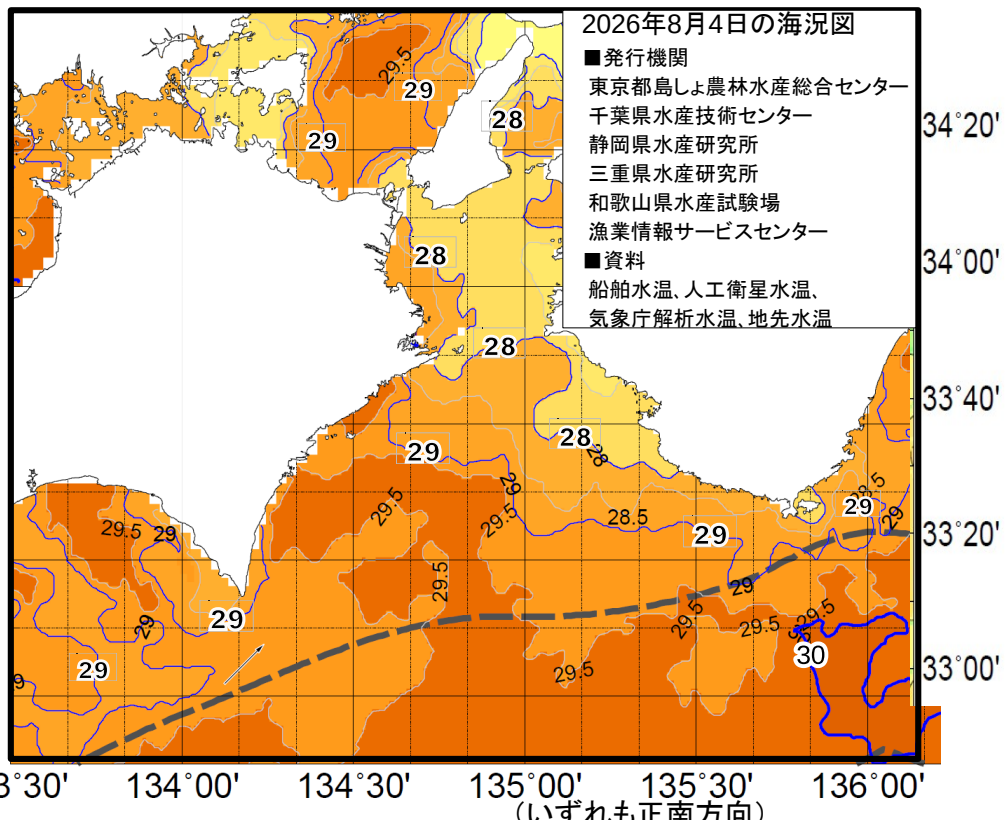
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖15マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

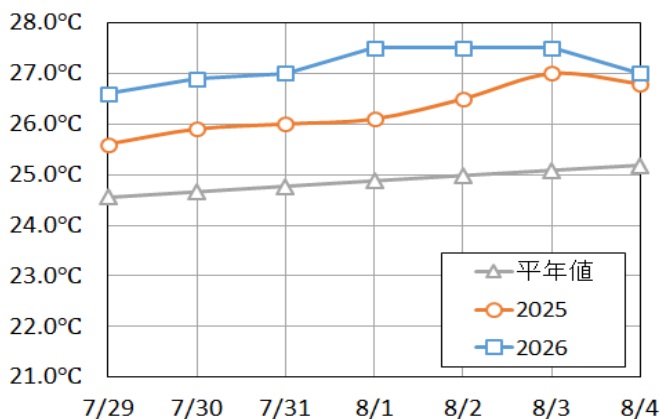
黒潮の表面水温は28～30℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で28～29、紀伊水道で27～28、海部沿岸で28～29℃台となっている。



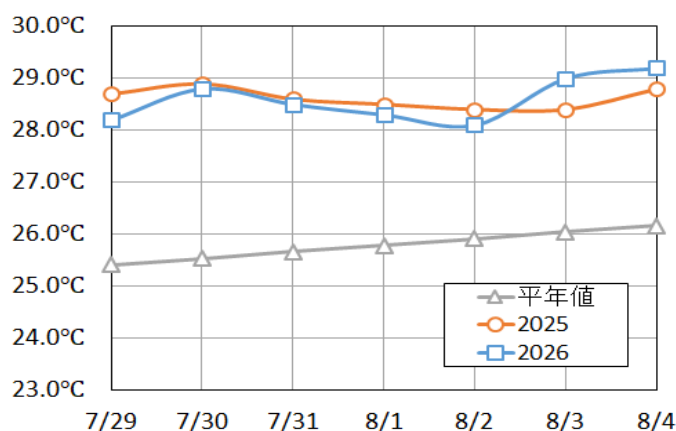
2. 地先水温(7月29日～8月4日)

鳴門地区の水温は、26.6～27.5℃で「高め」で推移。浅川地区は、28.2～29.2℃で「かなり高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、0.6～2.2℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(8月5日～8月11日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「高め」、浅川地区で「かなり高め」で推移する見込み。

漁況

(7月27日～8月2日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが減って62.4トン水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に6.5トン、あまだい類が0.4トン水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に9トン、マダイが減って0.4トン水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大主体に0.9トン、マアジが増えて小あじ主体に0.3トン、

ブリが増えてめじろ級主体に0.2トン、マダイが減って0.2トン水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、キハダが大きく減って0.5トン水揚げされた。

延縄では、アカムツが大きく増えて0.2トン、あまだい類が増えて0.1トン水揚げされた。

小型定置網では、マルソウダが大きく増えて0.3トン水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.15トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	69	シラス	62,370	904		↘
	延縄	57	ハモ	6,496	114	中主体	↘
		52	あまだい類	417	8		→
	底びき網	45	ハモ	8,999	200	中主体	→
		40	マダイ	428	11		↘
	小型定置網	14	イサキ	874	62	大主体	→
		15	マアジ	316	21	小あじ主体	↗
		7	ブリ	192	27	めじろ級主体	↗
		15	マダイ	153	10		↘
海部沿岸	釣り	6	キハダ	480	80		↘↘
	延縄	24	アカムツ	165	7		↗↗
		15	あまだい類	150	10		↗
	小型定置網	11	マルソウダ	292	27		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘